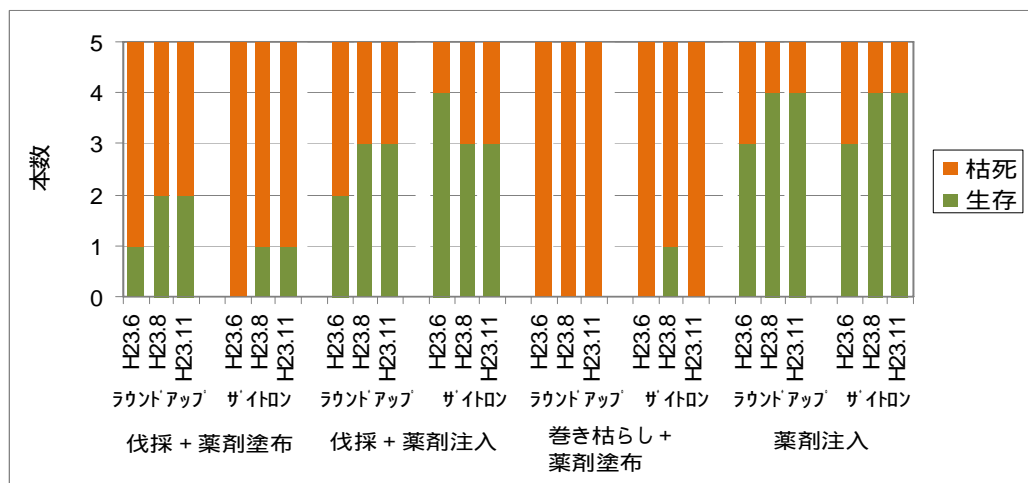


ニセアカシアの効果的な処理について

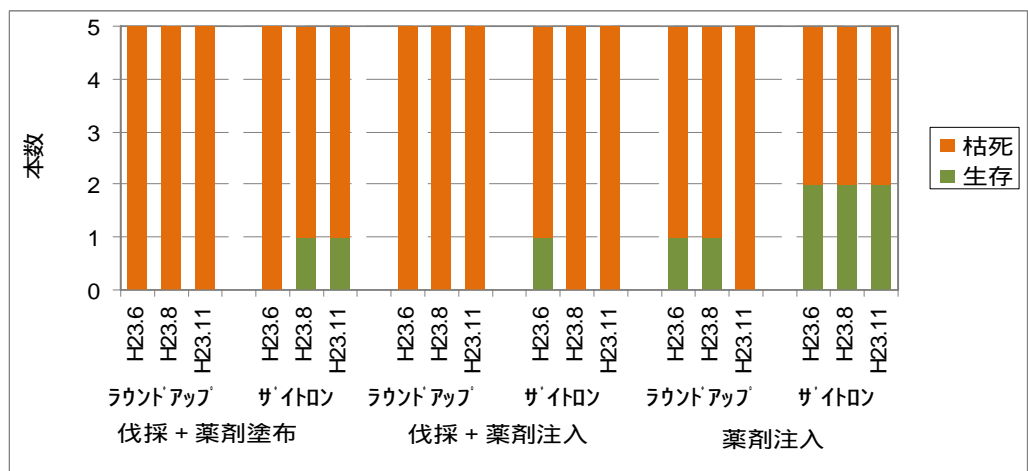
- 六甲砂防事務所では、平成 23 年度からニセアカシアの萌芽再生処理対策を検討しています。
- 対策方法とその効果について試験したところ、ニセアカシアの萌芽対策として薬剤処理が効果的であることがわかりました（半年間の検証）



未伐採木



伐採木



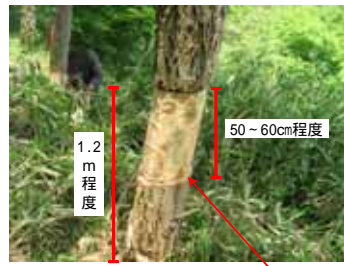
生存個体もわずかに萌芽枝を発生している状態であり、萌芽再生する可能性は低く、将来的には枯死すると考えられました。

【ニセアカシアの萌芽再生処理】

巻き枯らし+薬剤塗布



巻き枯らし作業中



巻き枯らし終了



薬剤塗布

この部分(形成層)には十分に塗布する。

伐採+薬剤塗布(伐採時)



伐採後の切り株



薬剤を染み込みやすくするため、切り株に切り込みを入れる



薬剤塗布

伐採+薬剤塗布(既伐採木)



萌芽再生枝伐採後の切り株



萌芽再生枝の切り口に薬剤塗布

- 引き続き調査を実施し、効果の確認を行っていきます。

ニセアカシアの対応に困り、薬剤塗布を希望される場合、活動支援事務局にまで、ご一報(06-4390-5104)ください。薬品を慎重に取り扱う必要があるため、薬剤塗布は、六甲砂防事務所が実施いたします。